

三百年乱反射、再演 奉ル

2024

3 / 2 → 3 / 30

土曜日

土曜日

秦雅則 × 歌舞伎 写真展



MAP

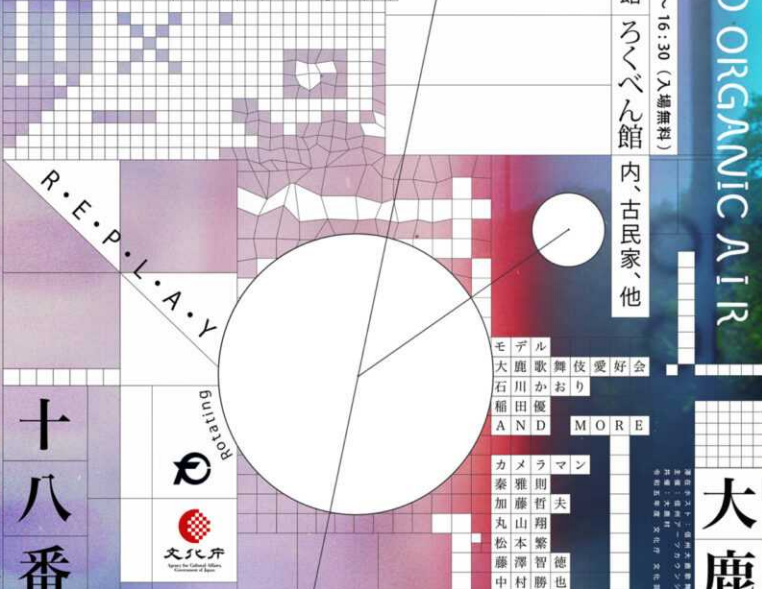
大鹿村民俗資料館

9:30 ~ 16:30 (入館無料)

ろくべん館内、古民家、他

MASANORI HATA × OOSHICA KABUKI EXHIBITION

KABUKI=Traditional Japanese performing arts
× Contemporary photography



R.E.P.L.A.Y

Rotating



十八番

モデル 大石 龍太郎 歌舞伎愛好会
大鹿歌おかり
石川 優子
稲田 愛梨
AND MORE

カメラマン
泰雅則 哲夫
加藤山本 繁智 徳也 子
藤村 勝周 奈之平
中田 優政 康平
稲田 清
稲田 清

集力 協美 協美 協美
藤河 本明 代
展小 設 營
展小 設 營 仁

大鹿歌舞伎

大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎 大鹿歌舞伎

六千両後日文章重忠館の段
イ野がれし掃写のイク真一お
デ長妻が鼻ののたにバ写ユに
一から願公伎無ま台たで真
アかっけら舞一れ舞コレ思写
在月た受か歌しこをたら願の
満6あて中鹿を、館れ撫不伎
の年につの大影は料さつが歌
R33在渡民、操で賣古つこ歌
A12滑に住にて示俗い使と鹿
20年域補み展民使を、大
す余地十嵐の村。ム。う。
NIC、ま0。とを回鹿す川遠けい
Nいが10。集出今大マイ味まさ
ANI則て3伎編演。ず、しフー一
G奏重村歌ル別ましてを示しては
ORのを鹿鹿鹿特別ましては
家在大大毛はい果ん懐写に非
NO真滯、「に成月音録いは是
写のの芝マ、とれり成シ、とな味を
ANし村た地ラ演ま作レラ感な演
AGと鹿したメ公に集ヌカ、うる
Nト大目さカや集真ヌカ、うる
N又照着てた古真写ントはモけ

三百年乱反射、再演奉ル

MASANORI HATA × OOSHIKA KABUKI EXHIBITION

大鹿歌舞伎とは？

大鹿歌舞伎は、明和4年（1767）に上演された記録が残り、大鹿村の集落にある神社の舞台上で演じられ、今日まで伝承されてきました。歴史の変遷の中で、江戸時代から明治時代には、歌舞伎上演は禁令とされましたが奉納歌舞伎として、村人の暮らしの中で脈々と受け継がれてきました。

主な歩みとして、昭和52年長野県無形民俗文化財に指定、昭和59年長野県芸術文化使節団としてオーストラリアで公演、平成4年ドイツ6都市で公演、平成8年国選無形民俗文化財に指定、平成9年から3年間、文化庁伝統文化伝承総合支援事業「大鹿歌舞伎地芝居習塾」を継続開催するなど、国内外で広く活動を続けています。また、平成29年3月3日文化庁長官より、国重要無形民俗文化財に指定されました。毎年、春の定期公演5月3日（憲法記念日）、秋季定期公演10月第3日曜日に公演を行っています。

今回のプロジェクトについて

2004年より写真家として活動してきた秦雅則は、2021年に「私達写真プロジェクト」を立ち上げました。そのプロジェクトの一環として、NAGANO ORGANIC AIRを通して2023年から大鹿村で大鹿歌舞伎の写真集作りを進めています。私達写真プロジェクトとは「私」という個性が切り開いてきた近・現代の価値を否定するものではなく、一人一人の「私」が望んだ結果としての歴史に対するカウンター（対抗）です。写真を含む映像表現は「私」の問題や葛藤を社会の構造の中に埋もれさせずに、生きることの美しさを表していくことに大きく貢献してきました。写真史には私写真という分野がありますが、スマートフォンの普及やSNSの登場により、私が私のことを映像を通して表すことは今では日常と化していると言えるでしょう。その大きな歴史の流れによって得られたものはとても素晴らしいものです。しかし、その流れによって失われていこうとしているものもあるのではないかと考えています。私達写真プロジェクトではその失われようとしている「私達」の営みに着目し制作していくプロジェクトです。大鹿村での制作では、作家である秦の視線と、家族、仲間、観客など様々な視点を混在させることによって私達の営みを複眼的に表していこうとしています。大鹿村で親から子へ子から孫へと引き継がれてきた歌舞伎の伝統を、今後も土地に根付いている人々の手で作りあげられるように、プロジェクトに参加してくれている皆さんと一緒に考え制作しています。

関連イベント

展示会場の大鹿村民俗資料館ろくべん館にて、イベント開催

小学生による歌舞伎公演披露 ～白浪五人男 大鹿の段～

日時：3月2日（土）11:00頃開始 ※約1時間程度
参加費：無料
申込み：不要

「大鹿歌舞伎の化粧を体験してみよう！」

大鹿歌舞伎愛好会による講習のもと、本番さながらの化粧を体験できるまたとない機会です。化粧の後は、秦や参加カメラマンによる写真撮影も実施。撮影した写真は写真集に掲載されるかもしれません。また、人数限定で化粧にあわせて実際の歌舞伎で使った衣装の着付けも体験できます。



scene52 / 化粧 (2023)



scene72 / 衣装 (2023)

日時：3月30日（土）14:00～15:30

参加費：無料
申込み：不要

※ただし着付け体験も合わせてご希望の方は、noa@naganobunka.or.jp まで氏名・電話番号・メール・参加人数をお送りください。（限定3名/所要時間約90分）

「あっちの星とこっちの星を見てみよう！」 各自、自由開催

お問い合わせ / Inquiries TEL: 026-223-2111 (信州アーツカウンシル)

ARTIST

秦雅則 / Masanori Hata

1984年、日本生まれ。写真というイメージを用いて社会的価値観に矛盾や亀裂を生じさせる作品を制作している。それは時に、相反するものを共存させたり、共存していること自体を揺るがせたりして、社会（世界）の認識の危うさを証明する。そして、その実践の場所として独立したメディアであるギャラリー・出版社を運営し、美術作品の発表だけではなく、様々な環境に生きている人々とのコラボレーションによる展示や出版物の企画もしている。



scene123 / 彼者 (2023)



scene355 / 3つ重なる (2023)



scene525 / 権五 (2023)



scene445 / 権五中、仰れる (2023)



scene455 / 本番前 (2023)



scene392 / 黒衣 (2023)

基本情報 / General Information

会場 / Venue

大鹿村民俗資料館ろくべん館
(長野県下伊那郡大鹿村大河原1000-14)

会期 / Exhibition Period

2024年3月2日（土）～30（土）

開館時間 / Hours

9:30～16:30
※休館日（火曜日）

料金 / Admission

入場無料

交通 / Access

（自動車の場合）
東京方面から / 東京→中央自動車道→松川IC→大鹿村
名古屋方面から / 名古屋→小牧JCT→中央自動車道→松川IC→大鹿村

（高速バスの場合）
関東方面から / バスタ新宿→中央道下り飯田線→松川バス停→大鹿村
横浜駅東口バスターミナル→横浜線→飯田行→松川バス停→大鹿村
大阪方面から / 阪急梅田高速バスのりば→大阪→箕輪→松川バス停→大鹿村
名古屋方面から / 名鉄バスセンター→中央自動車道→松川バス停→大鹿村
長野方面から / 長野バスターミナル→長野道→中央自動車道→松川バス停→大鹿村
※松川バス停・松川ICより、車やバスで大鹿村まで50分程度かかります。

地図 / Map

